

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 越生町

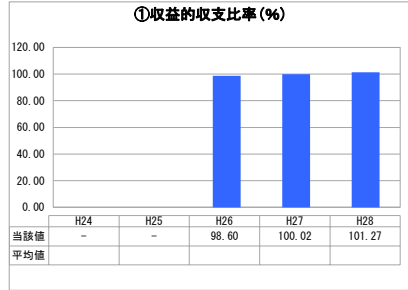
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	11.52	91.34	1,890

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,904	40.39	294.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,367	1.24	1,102.42

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



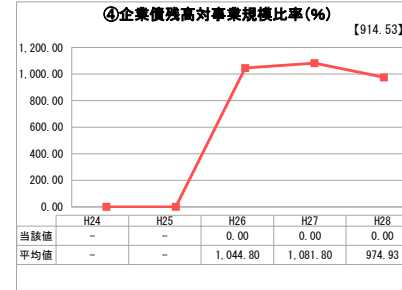
「単年度の収支」



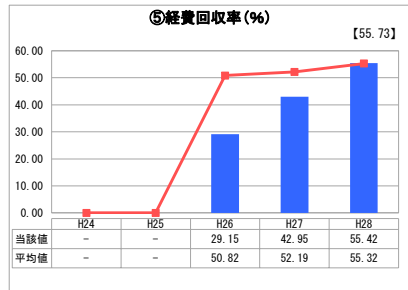
「累積欠損」



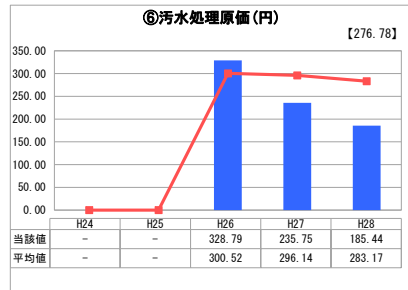
「支払能力」



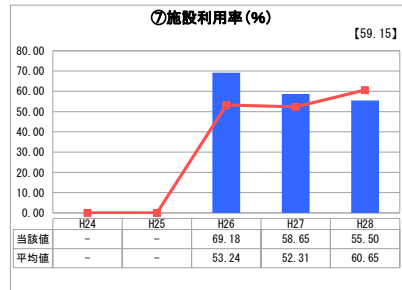
「債務残高」



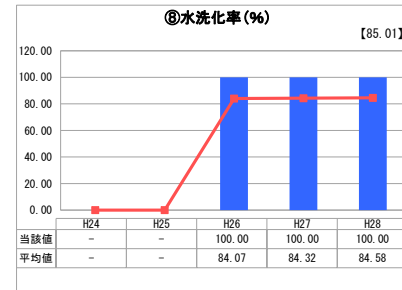
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

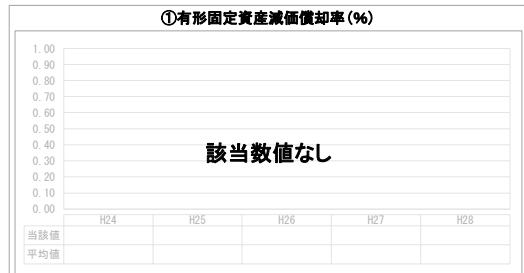


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

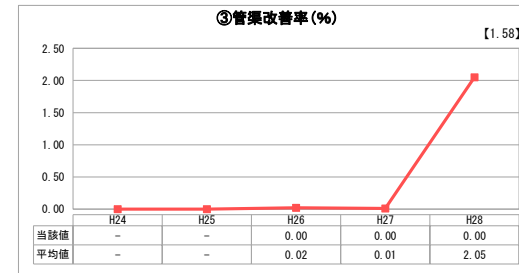
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が前年に続き100%を超えているが経費回収率については引き続き低水準であります。そのため使用料金を適正な額に改定し、各費用の削減をしていきたいところです。しかし、使用料金を町内で同水準とするため公共下水道組合と同等としており、各施設の老朽化等により修繕費等の各費用が増加傾向のため難しい状況であります。汚水処理原価は施設利用率の低下にともない低くなってきています。越生町の人口も減少しているため今後も低くなる可能性があります。

### 2. 老朽化の状況について

施設の機器について老朽化等により不具合・故障が増加してきておりますので、引き続き緊急性・重要性を考慮し効率的に修繕・交換等を行っていきたくと考えております。

## 全体総括

施設の機器の老朽化等により修繕費等の各費用が増加傾向であり、各指標も平均と比較し低水準なものもありますので、今後は主に緊急性・重要性を考慮し効率的に機器の修繕・交換等を行っていきたくと考えております。今後施設利用率が低下すると考えられるので集落排水の案内チラシを配布するなど行い、効率性を上げていきたいと考えております。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。